

地域の担い手育成にご活用ください！

受講生募集

令和元年度

みえのみらいづくり塾

地域の「現状」から「これから」を考え実践しませんか？

- 自分が暮らす地域を暮らしやすい地域にしたい方
- 若い世代にも地域づくりに参加してほしい方
- 人が集まれる場所(コミュニティ)を地域につくりたい方
- 伝統文化の継承などに不安を感じる方
- 地域の魅力や資源を活用したい方 など

「みえのみらいづくり塾」とは？

県内の中山間地域等では、人口減少や高齢化が進んでおり、地域のコミュニティが支えてきた伝統行事などの継承が困難になったり、地域のつながりが希薄になるなどの課題があります。地域への誇りや愛着を持ちながら、自分が暮らす地域を少しでも良くしていこうとするアクションを起こせる人材の育成を目的に、全国各地から地域づくりの実践者を講師に招いて活動に役立つノウハウなどを学ぶ塾を開催します。

第1回

人口減少地域での持続可能なまちづくり

▶とき 2019/7/20(土) 13:30~16:30

▶ところ 松阪市市民活動センター (松阪市日野町788カリオンプラザ3F)

※全6回開催(第2回~第5回についても中勢地域で開催予定です。) ※参加者決定後に会場の詳細を案内します。



[講師] 川北 秀人 氏

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

皆さんが暮らす地域の人口推計データから、地域の「これまで」と「これから」を読み解き、持続可能なまちづくりに向けて「行事から事業へ」、「役から経営へ」、「現場づくりからひとづくりへ」といった視点で講演いただきます。地域自治組織の先進地である島根県雲南市の地域自主組織制度を2006年の立ち上げ当初から支援するなかから、「小規模多機能自治」の推進を提唱。2015年に設立された「小規模多機能自治推進ネットワーク会議」には200以上の自治体が参加し、高齢化や人口減少に備えた住民自治や地域経営のあり方をともに学んでみえます。

全6回開催

第2回~第6回の詳細は裏面をご覧ください。

※グループ単位で、6回の講座すべてを受講いただきます。 主催：三重県

定員 25名

2、3名の住民グループでの申し込みとなります。

申込締切

2019
7/1(月)

参加無料

受講料は無料ですが、参加にあたっての交通費等は自己負担となります。

第2回 地域運営組織の進め方

斎藤 主税 氏 NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長

2019/8/24(土) 13:30~16:30

中学生以上を対象とした全住民アンケートから、地域ニーズに合った地域運営について講演をいただきます。小さな拠点・地域運営組織の研修会などで講師をされています。全国各地の都市計画及び参加型まちづくりのコンサルティング業務に従事され、コミュニティビジネスの育成と中間支援NPOの運営を実践し、2001年から新潟県内を主なフィールドに幅広い分野・領域の地域づくり事業・ワークショップのコーディネート活動を開始されています。2004年からはNPOの立場から多様な地域づくり事業のプランニング・コーディネートに携わられています。



第3回 地域における対話(話し合い)の場づくり

池山 敦 氏 皇學館大学教育開発センター准教授、認定ワークショップデザイナー 2019/9/21(土) 13:30~16:30

住民同士の対話(話し合い)の場の意義や有効性などを交えながら、受講生が地域に戻って実践するためのファシリテーションや合意形成の手法などを紹介いただきます。大学生と一緒に地域での対話(話し合い)の場づくりを実践されています。



第4回 地域資源を生かした地域づくり

山中 満寿夫 氏 波多コミュニティ協議会 会長

2019/10/5(土) 13:30~16:00

旧小学校の活用(店舗・サロンなど)や移動手段の紹介から地域づくりを考えます。島根県のほぼ中央、雲南市の南西端に位置する山あいの地区で、地区内に唯一あった商店が閉店したことを受け、元々は小学校であった波多交流センターの一角に店舗「はたマーケット」を開設されました。サロン機能も併設し、買い物を終えると、顔を合わせた人同士がお茶を飲みながら交流できます。車を持たない住民に対しては、コミュニティ協議会が所有する車「たすけ愛号」で無料送迎も実施されています。

第5回 多様な主体と連携した地域づくり

向井 隆 氏 一般社団法人がもう夢工房 理事長 東田 八郎 氏 事務局長

2019/11/9(土) 13:30~16:00

まちづくり計画のヒト・モノ・カネを循環させる取組紹介から地域づくりを考えます。『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり(蒲生の将来像)』を進めるため地域住民や行政、地域の事業所と一緒に設立した法人で、食の六次産業化、着地型観光、援農隊の早期実現に向けた実戦部隊です。地域の皆様からの資金(志金)を原資に収益事業としてコミュニティカフェを核に各事業を実施されています。



理事長 向井 隆 氏

第6回 各地域で実践「ワークショップ」 ■とき/2019/11~2020/2にかけて ■ところ/申込グループがお住まいの各地域

受講生が暮らし、または活動する地域で、住民の皆さんも参加するワークショップを開催します。受講生には、ワークショップの運営に加わっていただき、住民間での合意形成に役立つスキルを学んでいただきます。また、各開催地域にはワークショップでの対話を今後の地域づくり活動に生かしていただきます。

●テーマの例…「この地域の魅力ある資源とは」、「地域課題の解消に向けてできること」など

コーディネーター(アドバイザー) 皇學館大学教育開発センター准教授 池山 敦 氏

自治体と連携して「地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉えて行動できる、アクティブ・シジズの育成」に向けた教育プログラム作りを担当されています。こうした活動を通じて得られた経験や知識を生かして受講生の皆さんが講義で学んだ内容を理解し、自らの地域にも生かせるようコーディネートいただきます。

お申し込み・問い合わせ先：NPO法人Mブリッジ(担当:石丸隆彦) TEL：0598-23-8400 E-mail：csr@tsutaetai.jp

EメールまたはFAXによりお申し込み下さい [E-mail:csr@tsutaetai.jp] [FAX:0598-23-8488]

所属する地域団体 (自治会・協議会など)	お住まいの地域の自治会や住民協議会等にも ご相談のうえ、お申し込みください。					
代表者名	ふりがな			参加人数	2人・3人	
年代	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳~
人数	人	人	人	人	人	人
電話番号	Eメール					

※この事業は、三重県の委託事業により実施しています。 ※申込書等で収集した個人情報は本事業以外の目的に使用することはありません。
※応募者多数の場合は、選考のうえ受講者を決定します。 ※選考を行った場合は、令和元年7月5日(金)を目処に連絡します。